

「にいがた市民大学」運営委員会 会議概要

令和4年度第3回「にいがた市民大学」運営委員会	
開催日時	令和4年9月27日（火） 午後4時00分～午後6時00分
会場	新潟市生涯学習センター 交流ホール2
出席者	委員：追手学長、霜鳥委員、富永委員、中村（恵）委員、中村（美）委員 成田委員、野内委員、橋本委員、山田委員 計9名 事務局：生涯学習センター所長、所長補佐、センター職員2名
内容	<p>1 開会</p> <p>2 学長挨拶</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 令和4年度 市民大学後期講座について</p> <p>◎資料1に基づき、事務局から令和4年度実施の後期講座開設状況について報告しました。</p> <p>→質問や意見はありませんでした。</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 令和4年度 市民大学特別講座の実施について</p> <p>◎資料2に基づき、事務局から令和4年度実施の市民大学特別講座(2講座)開催案について説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいがた市民大学で実施する以上は、ある程度の学術的な側面も重視していく必要がある。「まちの変革者に聞く」は話題性として面白いと思うが、もう少しアカデミックなものにできるとさらに良くなると思う。 →助言いただきながら、構成を考えてみたい。 ・開業するに至った理由やそのまちを選んだ理由という「語り」の視点で考えると、アカデミックになるのではないか。 <p>(2) 令和5年度 市民大学実施講座について【市民提案講座に関する協議は非公開】(講座体系案について)</p> <p>◎資料3に基づき、事務局から前回会議の協議結果を反映した令和5年度の実施体系案について説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも体系案に当てはまらなくても良いか。 →差し支えない。

内 容	<p>(大学コンソーシアム連携講座案について)</p> <p>◎資料4に基づき、事務局から令和5年度大学コンソーシアム連携講座案について説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムは複数の大学で企画案を考えるが、企画内容によっては講師が1つの大学で固まっても良いか。 →様々な大学が関わるのが望ましい形ではあるが、専門的な内容のため、講師の偏りが出てしまったと考える。 <p>(前期講座プログラム案について)</p> <p>◎資料5に基づき、各委員から講座プログラムの修正案を説明し、意見交換を行いました。</p> <p>【主な質問・意見、協議結果等】</p> <p><親子で学ぶプログラミング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問や意見はありませんでした。 <p><まちとデザイン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めにデザインとアートの違いを聞いていただくことが大事だと思う。 ・後期講座では実際に講師から現地を案内してもらってはどうか。 <p>◎コーディネーターは霜鳥委員、橋本委員、野内委員に依頼することとしました。</p> <p>◎回数は8から10回程度とし、後期ゼミナールは実施することとしました。</p> <p><経験のない気象災害に備える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施講座の「脱炭素社会に向けて」を気候危機に対する緩和策と位置づけると、それと上手く繋げて適応策と位置づけると、より連続性があっていいのではないか。 <p>◎コーディネーターは新潟大学の本田教授に依頼することとしました。</p> <p>◎回数は5回から6回とし、後期ゼミナールは実施しない方向でコーディネーターと調整することとしました。</p> <p><家族みんなのための栄養学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する講座は興味がある市民も多いのではないか。 ・理想論を語っても忙しいからできないという話になる。現実的な話とすることは大事だと思う。 <p>◎コーディネーターは成田委員と富永委員に依頼することとしました。</p> <p>◎回数は8回から10回とし、後期ゼミナールは実施しないこととしました。</p>
-----	--

<p>内 容</p>	<p><MBAエッセンシャル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回ではMBAエッセンシャルを網羅しきれないため、もう少し回数を増やして開催したい。少なくとも5・6回は必要と考える。 ・コーディネーター候補からは後期講座の実施も可能と聞いている。前期講座をオンラインで実施するのであれば、後期講座を対面で実施し、より学びを深められると良い。 ・忙しい時間帯のため受講できない場合がある。期間限定でも良いのでアーカイブで見ることができると良い。 <p>◎前期講座をオンライン、後期講座を対面で実施することについて、スケジュール面から実施が可能か事務局にて整理することとしました。</p> <p>◎コーディネーターは新潟大学の伊藤准教授と富永委員に依頼することとしました。</p> <p>◎アーカイブの対応が可能か、コーディネーターと調整することとしました。</p> <p>(2) 令和4年度 市民大学関係3者スケジュールについて</p> <p>◎資料6に基づき、事務局から令和4年9月から12月のにいがた市民大学関係3者スケジュール(案)について説明しました。</p> <p>→質問や意見はありませんでした。</p> <p>6 閉会</p>
<p>傍 聴 者</p>	<p>0名</p>
<p>会 議 資 料 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 令和4年度 にいがた市民大学後期講座開設状況 ・ 資料2 令和4年度 にいがた市民大学特別講座開催(案) ・ 資料3 令和5年度 にいがた市民大学開設講座体系(案) ・ 資料4 令和5年度 大学コンソーシアム連携講座(案) ・ 資料5 令和5年度 にいがた市民大学前期講座プログラム(案) ・ 資料6 令和4年9月～令和4年12月 にいがた市民大学関係3者スケジュール